

報道関係各位	発信年月日	令和8年2月20日	送付枚数 (本紙含む)	2枚
担当部課名	担当課長名	担当者職氏名	連絡先電話番号	
市民部環境課	山本 満康	主査兼環境政策係長 原野 浩一	(0836) 82-1144	
件名	GX推進アクションプラン策定及びゼロカーボンシティ宣言について			
内 容				
<p>世界的な脱炭素化の潮流の中、本市の目指すべき脱炭素社会の姿を明らかにするため、令和6年6月に「山陽小野田市GX推進指針」を策定し、その後、同指針に基づく具体的な施策の検討を重ねてまいりました。</p> <p>そして本日、この実行計画として「山陽小野田市GX推進アクションプラン」を策定・公表するとともに、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しましたので、お知らせします。</p>				
<p>1 本プラン策定及びゼロカーボンシティ宣言表明日 2月20日（3月議会初日の施政方針演説において市長より表明）</p>				
<p>2 ゼロカーボンシティ宣言について</p> <p>(1) 概要 環境省では、2050年に二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨を、首長自らが又は地方自治体として公表した自治体をゼロカーボンシティとしています。</p> <p>(2) 宣言文 別添「山陽小野田市ゼロカーボンシティ宣言」のとおり</p> <p>(3) これまでに表明した県内自治体 山口県、下関市、山口市、柳井市、防府市、萩市、周防大島町、美祢市、岩国市 ※13市の中では本市が8番目の表明となります。 (山口県、周防大島町を含めた場合は10番目)</p>				



## 山陽小野田市ゼロカーボンシティ宣言

現在、世界的な脱炭素化の潮流の中、我が国はエネルギーの安定供給を図るとともに、産業競争力の強化を通じて経済成長や雇用・所得の拡大につなげるべく、国家を挙げてGX（グリーントランスフォーメーション）を推進しています。

本市には、多様なエネルギー産業や優良な企業群に加え、薬学・工学の研究拠点である山口東京理科大学、市民等との協創によるまちづくりなど、本市の経済社会を変革するポテンシャルがあります。

こうした特性や強みを踏まえ、経済・環境・暮らしのあらゆる面で持続可能性の高いまちづくりを目指すための基本理念として「産業競争力と持続可能性を兼ね備えたエネルギーダイバーシティ」を掲げ、市民、事業者、大学、団体、行政等の様々な主体が一丸となって地球温暖化対策と地域振興の両立に取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを、ここに宣言します。

令和8年2月20日

山陽小野田市長 **藤田剛二**